

参考出典：トミオカホワイト美術館、上越市HP
小林古徑記念美術館、Wikipedia 他

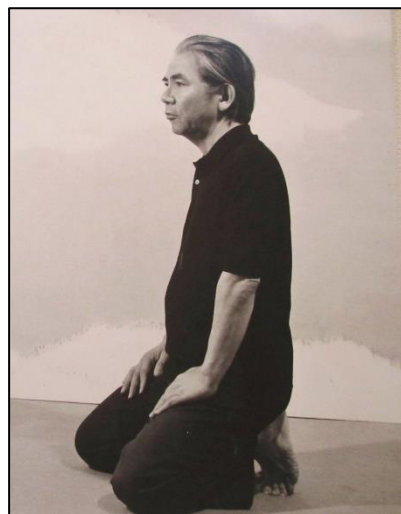
◆富岡 惣一郎 (とみおか そういちろう / 1922.1.8~1994.5.31)

<洋画家>

大正 11 (1922) 年に新潟県高田市南本町 (現・上越市) で生誕。昭和 14 (1939) 年、新潟県立高田商工学校卒業後は日本化成工業に就職。勤務の傍ら独学で絵を学んだ。昭和 38 (1968) 年第 7 回サンパウロ国際ビエンナーレ展に出品した「永遠の流れ」が近代美術館賞を受賞したことで国際的な注目を浴び、昭和 40 (1965) 年には長年勤めていた会社を退職し、現代絵画の中心地ニューヨークへ活動の舞台を移した。

雪の美しさに惹かれ、「白」という色彩に魅せられた富岡は、白色絵具が持つ黄変・亀裂・剥落という欠点を克服した油絵具「トミオカ・ホワイト」を開発。この絵具と、特注のパレットナイフを用いて独自の「白の世界」を築き上げた富岡の作品は、移住先のアメリカで「東洋の白」と絶賛され、高い評価を得た。

昭和 47 (1972) 年に帰国、北海道・東北・中部など国内各地の雪景を取材した成果を「雪国シリーズ」として発表。また、世界中の誰も描いていない「白の世界」を求めて、ヘリコプターやセスナ機による上空からの取材を行うなど、様々な方法を駆使して雪の「白」に迫った。



◆経歴 (敬称略)

大正11(1922)年……新潟県高田市(現・上越市)にて生誕。

昭和14(1939)年……新潟県立高田商工学校商業科卒業、日本化成工業に就職。

19(1944)年……日本化成工業、旭硝子を合併して三菱化成工業と改称。

22(1947)年……結婚。

25(1950)年……財閥解体により三菱化成工業3分割。「日本化成工業」として新発足。

27(1952)年……財閥商号使用禁止令の廃止に伴い、「三菱化成工業」に戻る。

37(1962)年……油絵の具「トミオカホワイト」開発。

40(1965)年……三菱化成工業(株)退社。米国ニューヨーク市に移住。

52(1972)年……帰国。翌年より東京にアトリエを移転。

61(1986)年……高田商業高校創立70周年記念事業として、作品提供。

平成02(1990)年……新潟県南魚沼市に、トミオカホワイト美術館を開館。

平成06(1994)年……5月31日、逝去(享年72歳)。

◆主な作品／トミオカホワイト美術館収蔵

- ・「永遠の流れ」
- ・「雪林・ニューヨーク」
- ・「早春 梢ーセントラルパーク」
- ・「桂林山水・霧」
- ・「雪・信濃川」
- ・「アラスカ氷河」
- ・「花火・長岡」
- ・「雪国・早春」
- ・「星・ブラック」
- ・「星・ホワイト」 など

◆受賞歴

- 新制作展新作家賞（第25回）・1961年
- 現代日本美術展コンクール賞・1962年「黒い線」
- 新制作展新制作協会賞（第26回）・1962年「黒い点」
- サンパウロ国際ビエンナーレ近代美術館賞・1963年
- 東郷青児美術館大賞・1984年「雪・信濃川 卯ノ木」

◆南魚沼市トミオカホワイト美術館（URL：<http://www.6bun.jp/white/>）

現在、新潟県南魚沼市の八海山山麓には、1990（平成2）年11月に開館した「トミオカホワイト美術館」があり、富岡惣一郎の作品が多数（約500点）収蔵・展示されている。

富岡惣一郎は「雪国に生まれた作品は雪国に還す」という言葉に託し、美術館開館の意義を多くの人々に伝えてきた。

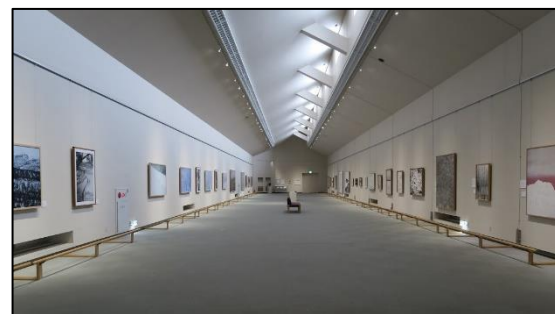
開館時、（財）八海山「白の世界」文化村が経営していたが、2011（平成23）年に南魚沼市立となった。

富岡が思い描いていた「雪国文化の発信基地」という志は脈々と引き継がれている。

◎ 令和5年度「ジュニア学芸員鑑賞ガイド」

～南魚沼市八海中学校文化部発表～

YouTube：<https://youtu.be/gUALQIyU0yE>



◆ギャラリー葵 楽庵／関連施設（URL：<https://www.facebook.com/gallery.aoi.rakuan/>）

上越市三和区に、平成24年開館の「ギャラリー葵 楽庵」（写真）がある。地元作家の個展や美術関係のワークショップなどを企画、展示・販売している。毎年、地元上越市出身の洋画家、富岡惣一郎の作品展示と解説を主題とした企画展を開催している。

オーナーの飯野ケイさんは「作品展示を通じて地元の人達の輪が広がり、富岡さんの企画展を始めてから富岡さんを知る良い場所になった」と話され、継続して企画、紹介・発信している。



◆ 小林古徑記念美術館収蔵作品／一部



街／s33 カンヴァス・油彩
45.5×32.8 cm



NY マンハッタン／s44
カンヴァス・油彩 89.7×71.5 cm



NY 早春 梢/s54「濃の墨絵」
紙・墨 84.5×58.3 cm



妙高山／s58 頃 130.3×95.5cm



雪 信濃川／s59 97.0×130.3cm



クリック↑
写真拡大表示

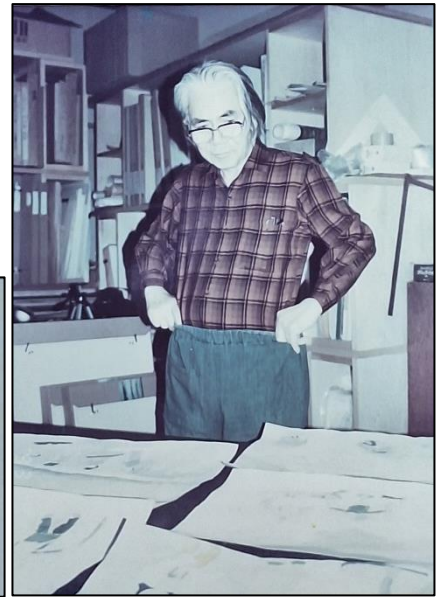
◆ 小林古徑記念美術館 (URL : <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/kokei/>)



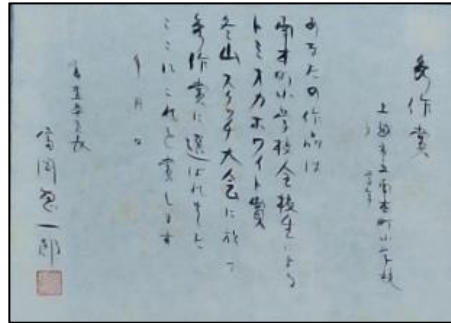
◆ 母校に思いを馳せて<1> (南本町尋常小学校／現 南本町小学校)

富岡惣一郎画伯は、昭和9年(1934)3月に高田市南本町尋常小学校(現 南本町小学校)を卒業。母校に20点近くの作品を寄贈している。

また、子供たちの絵画創作活動のために「トミオカホワイト賞」を創設し、自ら審査・表彰をして小さき後輩たちの芸術・情操教育に愛情をもって貢献した。



作品審査／平成4年度

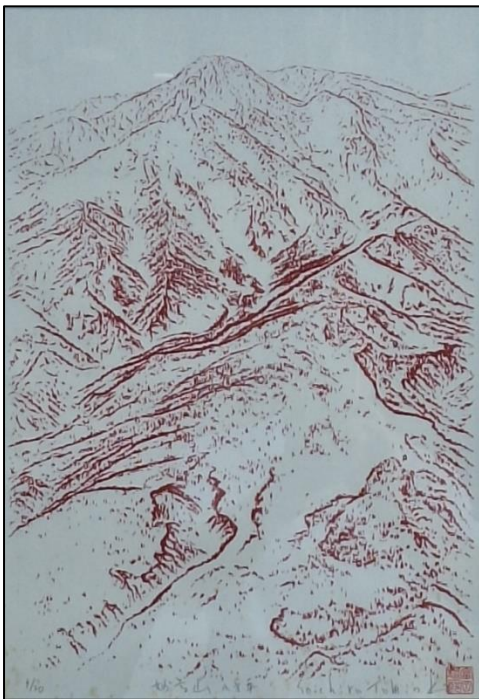


自筆の表彰状

秀作賞
上越市立南本町小学校
第 学年

あなたの作品は
南本町小学校全校生による
トミオカホワイト賞
冬山スケッチ大会に於いて
秀作賞に選ばれました
ここにこれを賞します
年 月 日

審査委員長
富岡惣一郎
Ⓜ



妙高山 八方平



雪林 E 31/50



花火



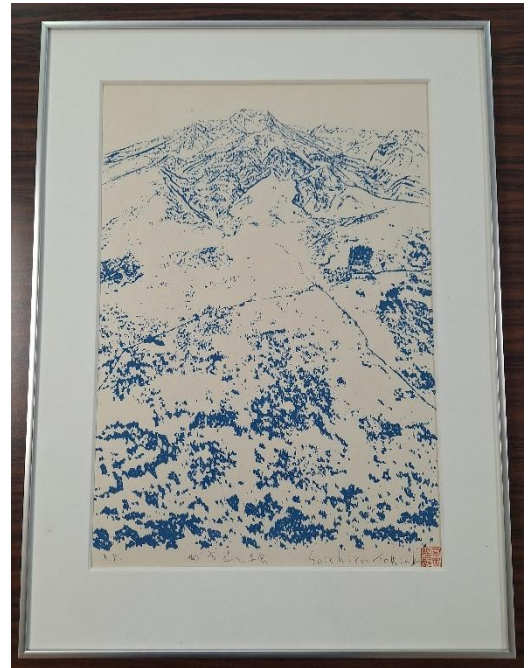
◆ 母校に思いを馳せて<2> (高田商工学校／現 高田商業高校)

富岡惣一郎画伯は、昭和9年(1934)に高田商工学校商業科へ入学。その当時は商業科、工芸科の2学科があり、工芸科では木工と漆工の2分科としていた。

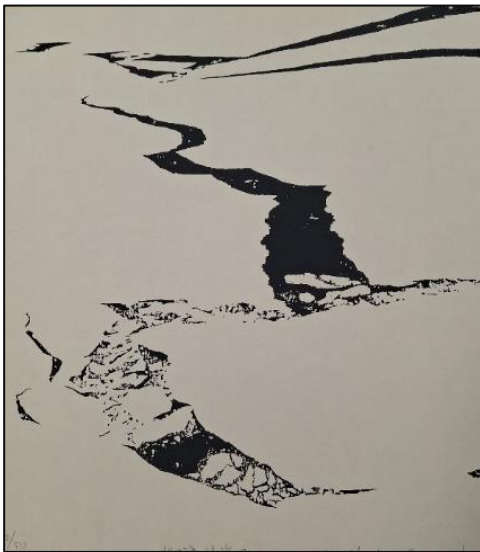
ここには、数人の美術学校出身の教師がおり、工芸デザインの授業を担当していた。この教師たちとの出会いが、もともと絵の好きであった画伯の芸術に対する興味を深め、才能を開花させるきっかけとなった。

話が高田商工学校時代に及んだ時、画伯はぽつんと、「私が今芸術家としてあるのは、高田商工学校に学んだお陰です。美術学校で芸術の専門教育を受けていたら、私の芸術は生まれなかったろう」とおっしゃった。

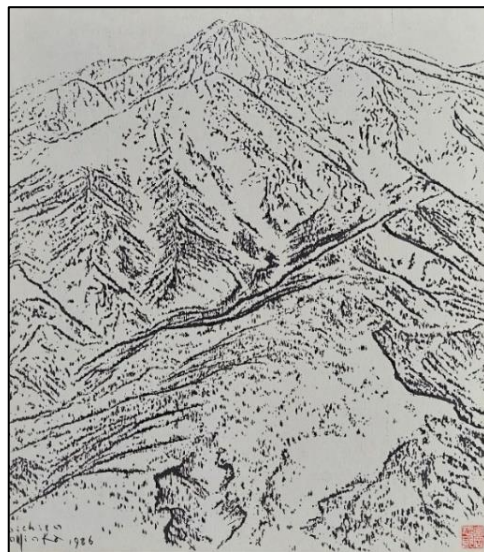
高商徒然譚「富岡惣一郎画伯の思い出」より



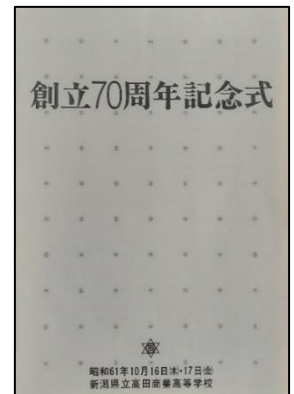
妙高山 赤倉 / s61.12 妙高八景



北の海 流氷 C 色紙 12/50



白の世界 妙高山



創立70周年記念式
記念品／リトグラフ
S61. 10. 16



富岡少年に大きな影響を与えた美術教師達／研究部デッサン (s13 年卒アルバムより)

◆ 近年の富岡作品展示会等

【1】 生誕100年展

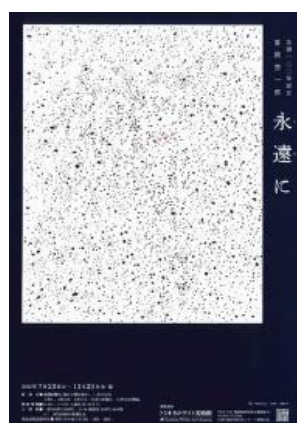
- (1) トミオカホワイト美術館
 - ・ 富岡惣一郎 生誕100年 白の旅
 - ・ 2022(令和4)年3月19日(土)～7月19日(火)
- (2) 小林古径記念美術館
 - ・ 生誕100年 白、追い求めて 富岡惣一郎展
 - ・ 2022(令和4)年3月26日(土)～6月19日(日)
- (3) トミオカホワイト美術館
 - ・ 生誕100年 富岡惣一郎「永遠に」
 - ・ 2022(令和4)年7月23日(土)～11月23日(水)
- (4) 高崎美術館
 - ・ 生誕100年 富岡惣一郎 白に染まる
 - ・ 2023(令和5)年2月4日(土)～3月26日(日)



(1)



(2) クリック拡大↑



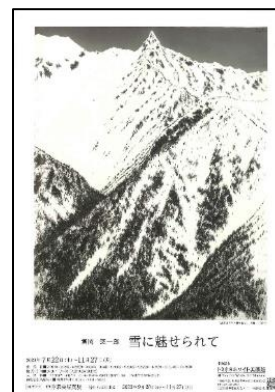
(3)



(4)

【2】 富岡惣一郎「雪に魅せられて」展

- ・ トミオカホワイト美術館
- ・ 2023(令和5)年7月22日(土)～2023年11月27日(月)



【3】 没後30年特集記事／新潟日報

- ◆ 富岡惣一郎 没後30年 継がれる白
 - <上>雪国の芸術 一体化構想 —2024(r6). 6. 26—
 - <中>空間に溶け込む秀逸作 —2024(r6). 6. 27—
 - <下>友人やファン 思い熱く —2024(r6). 6. 28—
 - <番外編>新しい世界 求めていた —2024(r6). 7. 2—

◆ 上越市公共施設の主な富岡作品

【1】上越市役所

昭和51(1976)年4月、高田・直江津両市合併による上越市の新しい市役所庁舎が春日山地区内に完成した。庁舎内の7箇所に富岡画伯が手がけた作品がある。かつて三菱化成工業でアートディレクターの業務にも携わっており、画家であると同時に空間デザイナーとしての視点も持ち合わせていて、上越市の依頼により市庁舎内の装飾を全体的にデザインした。

自身の作品を室内空間に溶け込ませるための素材や方法を吟味し、庁舎内の1F市民課や4F廊下等の壁面には洗練されたアルミエッチング壁画を見ることが出来る。なお、議場や応接室等は各部屋の性質上一般公開はしていない。



上越市役所 1階市民課



上越市役所 4階廊下



上越市役所 5階市議会議場



上越市役所 5階議会応接室



【2】上越市文化会館

昭和53(1978)年5月、上越市役所近くに建設された上越文化会館がオープンした。今まで市内に十分な音響効果の整った施設がないとの多くの市民の要望から建てられたもので、大ホールは1,500余席あり、ステージには富岡惣一郎画伯創作、画題「雪国」の緞帳(横22m、縦8.5m)が設置された。期待通りの優れた音響効果実現により高評価されており、高田商業高校でも芸術鑑賞会の会場として利用してきた。



上越文化会館大ホール緞帳「雪国」(s53.5開館)



上越文化会館



1Fロビー